



私のステイホーム週間

皆様は“湯の花”をご存じでしょうか？ そうです，温泉地で売っているアレです．お風呂に入れば凝縮した温泉成分が溶け出し，自宅の風呂場が温泉に早変わりするアレです．温泉自体，若い頃は興味がなく，例え研究会議が温泉ホテルで開催されたとしても，温泉を楽しむほどの精神的余裕が常になく，最近になるまでその良さがわかりませんでした．しかし，新型コロナウイルス感染拡大の影響で在宅勤務が始まり，3週間ほど経ったころ，遅々として進まない書類仕事，慣れないZoom会議，休校中の娘の強襲，奥様のストレスの伝播など，心労が徐々に溜まったのでしょうか，ある日突然，温泉二入りタイ，と思いました．しかし，当然ながら家族で温泉旅行には行けません．そこで思い出したのが湯の花です．湯の花は，お土産に買ったことも貰ったこともなく，なぜかネットやテレビでもあまり話題になったことがありません（その理由は後からわかったのですが…）．そこで効用がありそうな医薬用部外品となっている某有名温泉の濃縮液（☆4.3）をネットでポチっと購入しました．この状況下でも僅か3日で届き（配達員さんに感謝），ステイホーム週間直前の平日昼間から入浴タイムとなりました．早速，茶褐色の液体が入ったボトルを開封してみますと強烈な硫黄臭が部屋中

に広がり期待が高まります．湯船にキャップ一杯分入れると，わずか数十秒で見事な乳白色に変化（これは硫黄コロイドや炭酸カルシウムの生成によるらしい）．多分大丈夫だけど硫化水素が怖いので浴室の窓を開けて入湯です．仄かな硫黄臭に本格的な濁り湯，春の爽やかな風も入り，目を瞑ればここは別府の〇〇温泉露天風呂．心なしか肩の凝りもほぐれ，若干ピリピリするも肌もすべすべに．奥さんと娘もご満悦で，我が家のコロナ危機を乗り越えることに成功したのでした．さて，10日ほど経った頃ある異変が起きました．そう，鉄錆です．温泉成分，特に硫黄臭のする酸性硫黄泉は腐食性で，浴槽のゴム栓の鎖とかの金属部分が黒ずみ化し，蛇口にまで錆が発生しました．プラスチックの浴槽には目に見えるダメージはなかったのですが，給湯器の熱交換器が心配になり，敢え無く在宅湯治生活は終止符を打ちました．粉末タイプの湯の花も同時に購入していたのですが，こちらも浴槽を痛めるとのこと．なるほど，湯の花とか温泉濃縮液の評判が聞こえてこないわけです．その後は週1回の使用に留め，入浴後は浴室を徹底的に水洗いするという運用で今のところ問題なく温泉気分を味わっています．

さて，今は7月，当初危惧していたような指数的なパンデミックは日本では起こらず，また，緊急事態宣言の解除後からの怒涛の雑用も一段落し，ニューノーマルの研究生活にも慣れて参りました．改めてこの原稿を読み返してみますと，愚かなことをやっていたなと思うと同時に，非日常を少しでも楽しもうとしていたのが見てとれます．少々ふざけた内容ですが，こんな研究者もいるということでお許しください．

(Y)